

新「道の駅むらやま」(仮称) 整備基本計画(案) に関する パブリックコメントの実施結果

- 1 実施期間：令和6年2月26日(月)～令和6年3月8日(金)
- 2 募集方法：3月1日号市報、市ホームページ、市役所情報公開コーナー、まち整備課
- 3 実施結果：14件(3名)
- 4 取りまとめの注意点：

提出いただきましたご意見につきましては、取りまとめの都合上、適宜整理・要約させていただきます。

また、本パブリックコメントに掲載していない内容につきましては、他の政策や事業等に係るご意見としてお伺いし、参考にさせていただきます。

No.	分類	ご意見・ご提案の概要	ご意見に対する市の考え方
1	施設	新道の駅の目玉は何か：目的地化している道の駅づくりの目玉はざらに「公園」。面白公園にはどんどんヒトが来る。公園は建築なので、容積一杯様々プログラムがきっちり。つまり内外両方使える一石二鳥型建築計画で、相乗効果によりKPIもクリアしながら、地域社会の新たな賑わいづくり拠点としてのモデルプランに発展させることができると考えます。	公園的機能の魅力を高めることが重要というご意見として承りました。なお、具体的な計画については、今後、公募により選定される運営事業者の意向を踏まえ、計画・設計を市も関与しながら、工事予算やランニングコストなど総合的に検討し、決定してまいります。
2	機能	とまる：新しい道の駅は立ち寄るだけの場所ではありません。来ることが目的になる場所とプログラムが準備されます。四季を通じての屋根公園イベントの下は、大アーチのバラマーケット空間。様々なコンテンツがプランフリーに構成可能な容積づくりが施されることを願います。	ご意見のとおり、新しい道の駅は立ち寄るだけの場所ではなく、目的地となるよう計画を進めております。ご提案いただいております、屋根公園や大アーチ等につきましては、今後、公募により選定される運営事業者の意向を踏まえ、計画・設計を市も関与しながら、工事予算やランニングコストなど総合的に検討し、決定してまいります。
3	機能	めぐる：生産者、出店者の顔の見える化を図り、その顔たちを村山	カフェ機能を飲食ブースへ導入することは、運営者の提案になりますが

		<p>巡りに誘う仕掛けそのものにします。ローカルカフェの位置づけを大きくとらえ、むしろ「とまる」コンテンツにしてはいかがでしょう。またリアルの一例として、一年間お蔵入りの徳内祭り「山車」を一堂に集め、通年展示保管しながら、村山文化の PR につなげます。</p>	<p>必須機能として考えております。村山市の文化である徳内まつりの PR については「山車」を一堂に集め、通年展示保管することをご提案いただいております。このことについては、市民会議でも同様の意見が出されましたが検討の結果、「市内の伝統文化を迫力ある形で見てもらえるよう、工夫された映像端末案を設置する。」ことでまとめたものです。通年で大型スクリーン等を活用した映像コンテンツでの PR、イベントで踊りや山車を使ったもので PR に努めてまいります。</p>
4	機能	<p>やすらぐ：施設全体を遊びと安らぎの場所にしたいものです。トイレ他ユーティリティの充実は言うに及ばず、安らぎの気持ちになる屋内外の環境づくりを希望します。産直バラマーケットやマルシェの賑わいをのぞき込むような2階レベルに安らぎのプログラムを設け、雰囲気共有しつつ、長時間滞在の空間を提供します。フードコートも2階に設けることで、JR 駅からの歩行アクセスに散策感を味わいながら、直接アプローチするウォークブルデッキを楽しく掛け渡します。</p>	<p>ご提案の2階にフロアを設けることや、ウォークブルデッキの設置について、今後、選定される設計事業者との設計協議を経て決定していきますが、概算工事費等の予算内で納まる計画となるよう総合的に検討し、決定してまいります。</p>
5	機能	<p>みつける：見つかるから何回でもリピートしたくなる公園づくりが一番のコンテンツと捉えます。この道の駅は来ることが目的の場所だからです。子どものあそび場は、屋内外にいつでも展開できる準備をします。また屋根公園は冬こそ</p>	<p>ご意見のとおり、新しい道の駅はリピートしたくなるようなコンテンツが必要と考えます。ご意見いただきました建物の詳細や外構等につきましては、貴重なご提案として承りまして、今後選定される運営事業者の意見を踏まえ決定してまいります。</p>

		面白い発見探検ほっとけんになります。主要屋内施設を覆うのもやはり山。屋外広場はこの山を主軸に多用途活用に立体的機能を発揮します。四季を通して山は面白いあそび場になります。	
6	施設	駐車を偏らせた配置は避けるべきだと思います。道の駅にとって、車こそ道具的主役だからです。その上で、車も景観に溶け込ませる配置計画を押し出す必要があると思います。	駐車場の配置等につきましては、豪雪地帯ということ踏まえ、冬季の維持管理や運用を考慮した施設配置にしていきたいと思います。
7	その他	課題(宿命)は新・道の駅建設地が、東北中央高速道路村山 IC より約 1.5km 離れていることです。さらに、建設予定地が、軟弱地盤の地質構造です。	新しい道の駅の整備予定地につきましては、現在の予定地のほかに数か所検討をし、村山 IC 付近も候補地の一つとしていました。現在の整備予定地は、防災の観点で、最上川の洪水発生時の想定最大浸水深、防災拠点や周辺避難所へのアクセス性が他の候補地よりも優位性があります。集客の観点からみても、300m先には村山駅があり、商業施設も周囲に存在することから、東北中央自動車道及び国道 13 号の利用者以外からの集客を見込むことができる点で他の候補地よりも優位性があります。数か所の候補地の中で、現在の整備予定地が最も優位性があると判断し選定するに至りました。 地盤につきましては、村山 IC 付近から駅西エリアの地盤の課題を十分に認識しておりますので、地質調査を行い適切な対策を講じていきます。
8	その他	本計画書 P3 では、新たな道の駅のテーマとして第一に掲げる「市	道の駅の目的には、観光情報等の情報発信があります。ご意見のとおり、

		<p>内観光の拠点・ゲートウェイの拠点」と謳っております。そして、P13では、本市における代表的な観光名所を東沢バラ公園、最上川三難所舟下り、碁点温泉・クアハウス碁点を掲げています。</p> <p>しかしながら、P18の4.整備予定地周辺の現況整理(1)整備予定地の位置において、新たな道の駅の整備予定地を主要地点から表現していますが、残念なことに本市の代表的な観光名所すら記載なく、結びにいきなり、银山温泉が登場します。</p> <p>ここは、まずは本市の観光名所を再掲アピールして紹介した上で、広域観光地としての银山温泉を登場させても良かったのでは感じたところです。</p>	<p>市内観光地等（「3.本市の観光資源」としてP12～16に掲載）の情報発信や施設への案内誘導は必須と考えております。</p> <p>計画書（案）のP28「(11) 周辺の店舗等分布状況」のタイトルを「(11) 本市の観光資源及び周辺の店舗等分布状況」と改題するとともに、前述の観光資源の場所についても表示いたします。</p>
9	その他	<p>新・道の駅の開設に合わせて、東沢バラ公園への誘導策が両施設の今後の命運がかかっており、村山ICから新・道の駅経由東沢バラ公園までのバラに特化した一連の誘導策が必要であり、今回予定のバラ回廊～新・道の駅には特設バラコーナー、そしてこだわりの魅力的な食事とグルメを期待しております。</p>	<p>ご意見のとおり、市内観光地等の情報発信や施設への案内誘導は必須と考えております。市道駅西中央線の活用、道の駅内の機能につきましては、今後の運営等の中で検討してまいります。</p> <p>食事につきましては、道の駅を目的地にするためには必要不可欠な部分であると認識しております。レストラン、フードコートにつきましては今後も検討を続けてまいります。</p>
10	その他	<p>目的地としての東沢バラ公園観光へと誘導して、時間調整には舟下り等の各市内観光を提案して、最終的にはクアハウス碁点或いは市内ホテル等への宿泊に結び付けたい。</p>	<p>ご意見のとおり、市内観光地等の情報発信や施設への案内誘導は必須と考えております。今後の選定される運営事業者の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>

11	その他	<p>特色ある、一般観光客の目を引く興味を覚える誘導策が必要です。今回整備予定のバラ回廊は、奇抜で期待がもたれるところですが、何といても最終地点の東沢バラ公園の将来的に望まれる姿は、冬季間も含めて集客が見込める魅力的なバラドーム(簡易な大型テントハウスの構造とし建設費縮減)があり、大型観光バスが乗り付けて食事できるものです。当面これに代わるミニ展示施設を新・道の駅の一角にあれば、目を引き東日本一の東沢バラ公園へと誘導可能と思います。</p>	<p>ご意見のとおり、東沢バラ公園も含めて道の駅の魅力を高めていくことが重要と認識しています。ご提案の内容を承りまして、今後選定される運営事業者の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>
12	運営	<p>P F I (B T O)、 D B O、 E O I (O + D B) の 3 スキームを比べた場合 D B O 手法が最適と考えております。今回の基本計画では E O I 方式を優先的に検討されることの事ですが、今後整備手法の見直しの可能性はあるのでしょうか。また整備手法決定時期はいつ頃を想定されておられるのか。</p>	<p>現時点では、運営事業者の意向を設計に取り入れ、市も計画内容に関与できる E O I 方式を優先的に検討しております。決定時期は令和 6 年中と見込んでおり、引き続き本事業に参画意向のある方々のご意見を踏まえ、詳細を決定していく予定です。</p>
13	運営	<p>E O I (O + D B) の運営について、指定管理を受ける企業は単独事業者もしくは S P C 組成等が考えられますが、現状では地元企業が代表としてエントリーするのはノウハウの有無・実績を踏まえてハードルが高いと考えています。市としての考えをお聞きしたい。</p>	<p>ご指摘のとおり、運営に係る事業のノウハウ等が必要であることを十分認識しており、行政では及ばない部分を補うために民間活力の導入を検討しております。地元企業の参画も含めまして、引き続き検討を進めてまいります。</p>
14	運営	<p>E O I (O + D B) の設計・施工について、設計業務及び建設業務については地元企業が単独もしくは</p>	<p>現時点では、詳細な参画条件は検討中ですが、本事業において地元企業の協力は非常に重要であると認識し</p>

		JVでの参画を条件として想定されておられるのか。	ております。地元企業の協力が得られやすい方式を研究し、令和6年度中に詳細を決定できるよう検討を進めます。
--	--	--------------------------	------------------------------------------------------